

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

②子供のために必要だと思うコト・モノは？

- ・居場所
- ・近所からの支援
(ほとんどもだに行けいない子)
- ・関係各所の連携
- ・親への支援
 - ↳ 子育てが出来ていない
 - ・恥ずかしくてもうに助けを求められぬ

③自身の所属課でできそうだと思うコト・モノ

- ・学習支援 ~~センター~~ に来ている子について
- ・関係各所への情報共有
 - ただし、共有に良いのか……

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

- ・役所の中で各部署がもっている支援業人について連携がとれていない
 -
- ・担当者と家庭との ~~連携~~ 関係の構築
- ・情報共有が出来ないところについては共有し、

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

②子供のために必要だと思うコト・モノは？

- ・ 話し手 (寄り添ってくれる人)
- ・ 心理的な安心を得られる居場所
- ・ 定期的に子どもの様子を見るタイミング (検査など)
特に学校に行けない子
- ・ 学校に居場所の案内をお願いする
- ・ 親への生活支援 情報を知る機会を与える

③自身の所属課できそうだと思うコト・モノ

虐待
障害
防災
公民館

- ・ 就学援助の使途を管理
- ・ 家庭の状況と関わり、セーフティ・メールにつなぐ
(一歩寄り添う)
- ・ 世帯状況の把握と情報の発信
- ・ 多務事業の立ち上げの手助け、つなぐこと

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

- ・ 広報誌 12月号の案内
- ・ 地域の協力して地域の肉口を広げる。

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

- 市内の事例が、かなり深刻だったのに
おどろいた。
- 歯の指導も、日野市はかまっしているはず。
親の問題が大きい。

②子供のために必要だと思うコト・モノは？

- お金 (衣食住)
- 大人目 (見守り)
- 体験の機会
世界を広げる、外の世界を知るために必要。

③自身の所属課でできそうだと思うコト・モノ

- 親の負担を軽くする - 減免。
↓
ただし、親の意識を変える必要がある。
- ゴミ屋敷の情報 - 連絡できる - ?
↓
処理の減免 - ?
- 子供向けの体験をなるべく子供に
直接届くように周知していく。

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

- 広げれば 間接的には取り組みになる - ?
- (本人と納得して) ゴミ屋敷の対策
制度作り - ?
- 親の方の意識改革
↑
原因
- 食困と取組む手段
を知ってもらう。

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

- 家庭のリアルな現がから解決策が見出せたり
(ゴミ屋敷の子ども虐待の病気を→負の連鎖)
- 身体的 精神的虐待の状況。

②子供のために必要だと思うコト・モノは？

- 居場所の数とその情報の伝え方
周知発信の仕方、
子どももわかる方法。
- 経験、体験。

③自身の所属課でできそうだと思うコト・モノ

- ホラントアスなどの促進：参加してもらう
- 選挙への投票
- 支援をしよう団体へ行くのを(毎回がごと)
何から関心する

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

- ホラントアス休暇 ^{子ど. ホラントアス.}
→ 話しを聞くと ~~アス~~ に行く
→ 一品料理を作りに行く
→ ~~ホラントアス期間、アスの~~
注
- 発信 → 知ってもらう
(口コミ) → 地域の資源を活動して
行く。

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

- ・ 自分達の想像以上に現場はひどい
- ・ 現場をしっかりと見ないといけない、知らなかった
- ・ 支援の方法に悩んでしまふ(どこまで?)

②子供のために必要だと思うコト・モノは?

- ・ 衣食住あたり前の生活環境の教育?
- ・ 食事を用意する等の教育を親+子にする
- ・ 子どもの知る機会を広げる
- ・ 生活リズムも整える
- ・ 機会の提供、情報の伝達

③自身の所属課でできそうだと思うコト・モノ

- ・ 食育のایشん → 自分で作意識まで
- ・ 親子一緒に生活教育講座とか
- ・ 図書館学習スペース(居場所の提供)

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

- ・ 子どもが参加しやすい場所・イベント
- ・ 関係機関との連携で声をけとしかねる
参加のハードルを下げよう

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

②子供のために必要だと思うコト・モノは？

- 親への働きかけ。
- お金
- 安心できる居場所
- 無償のサービス

③自身の所属課でできそうだと思うコト・モノ

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

- 来庁者に窓口等を紹介する
相談
- 申請・手続をデジタル化を進める
- スクールカウンセラーの積極的な活用をPRする
- 子育て者の引きこもり対策と、子ども見守りを連携する

- 民間企業との連携
- ボランティアの紹介、募集

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

事例のケースが衝撃でした。
関わるのが大切と思った。
子育て中で、接し方を考えた

②子供のために必要だと思うコト・モノは？

子供の気持ちも考える。上手な方法など。
周囲からの目、おりにくくしては 配慮。
社会的からみての目が問題では？ 理解が得られない
いじめも多く、子供たちの中でも違うことが？^{ある}と思うことも
不登校への関わり方が変化していて、柔軟^{ある}になることも
フリースクールも高額（通信も、結果続かないことも）

③自身の所属課でできそうだと思うコト・モノ

~~子供~~
親への支援が必須^し → 重要^なことであるが、対応は
ケースバイケース^なことが多い。
コミュニケーションが重要

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

かかる費用の無料化
若者世代へのサポート 受皿
個人が知ることができるPR
親へのサポートフォロー

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

実際の数字以上にしているのではないか。

②子供のために必要だと思うコト・モノは？

→ SNS活用など子どもが発信できる機会を設ける。(匿名など)

③自身の所属課でできそうだと思うコト・モノ

・情報連携を強化する。

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

・情報共有など横のつながりを強化する。
・庁外の組織と連携し情報提供してもらう。

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

②子供のために必要だと思うコト・モノは？

- ・場所
- ・頼れる人 ← 子どもの困りごとに気がける態勢
- ・精神的な安心感
- ・お金
- ・自立の為の知識や知恵
- ・情報源 (支援を知るツール)

③自身の所属課でできそうだと思うコト・モノ

- ・スポーツをする機会の提供 (文スポ)
- ・相談する場所の周知 (セーフティ)
- ・関係機関の連携 (子ども家庭支援センター)
- ・普段できない体験の提供 (田植え) (緑と清流課)

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

- ・各課の取り組みを把握して連携をとる
- ↓
- ・情報 (チラシ広報・HPなど) を届ける
- ・子どもが相談しやすい環境を整える

①第1部の講演を聞いてどう受け止めたか、どう感じたか。

- テレビなどの報道^{せど}で知る機会はあるが、実際に現場の声を聞く機会はあまりないので貴重な時間だった。
- 普段の業務に関わっているところもあり、身近な問題

②子供のために必要だと思うコト・モノは？

- 気軽に訪れることができる居場所。
- 食事ができる場所。
- お金面の支援
- 様々な面で助けてくれる大人
- 助けを仰ぐ側の人々が子供が実際に困っている現状を知ることが

③自身の所属課でできそうだと思うコト・モノ

- 子供の遊び場をつくる。(公園など)
子供が(たー遊)びかできる。
- ~~食べ物~~ 食べ物に困っている人に食材を提供する。
- 税金の制度を改入(税制の控^除制~~物~~など)
- 野菜などの収穫体験。
- 窓口で困っている市民の方に、日野市で行っている支援などを伝えて、間接的につながり役割。
- 知識を増やす。

④市として取り組みそうだと思うコト・モノ

- 遊具なども、人同士のつながりもつくられる。
- 野菜などの収穫体験のき、かけづくり、実際につくってみる。
- こういう制度があるよといったチラシづくり、集知。
まは知ってもらおう。
- 市が運営する子供が集まれる場所、市民の方と協力して、きかけづくり。